

WEB株主通信

当社では、決算のご報告として、株主通信を年2回発行いたします。また、第1、第3四半期の業績概況は「WEB株主通信」としてホームページ上でお伝えいたします。

[>> WEB版はこちらへ](#)



2010年3月期第3四半期 株主通信

2009年4月1日～2009年12月31日

[▶ メッセージ](#)

[▶ 連結財務ハイライトと第3四半期決算のポイント](#)

[▶ トピックス](#)

[▶ スカパー！サービスのご案内](#)



メッセージ

**ハイビジョン(HD)と3Dで豊かなテレビライフの実現を、
衛星通信サービスで安定したインフラの提供を目指します。**

リーマンショックに端を発した景気後退はようやく新興国から回復に向かい、その恩恵を受けた先進諸国にも好転の萌芽が見え始めるようになりました。

スカパーJSATグループでは、「安・近・短」、「巣籠もり」といった消費動向をチャンスととらえ、2009年度をハイビジョン(HD)放送拡大の「攻め」の年と位置づけ、精力的に有料多チャンネル事業の拡大に取り組んでまいりました。

2008年10月に15チャンネルからスタートしたスカパー!HDのハイビジョン放送は今年の3月には72チャンネルに拡大。12月には87チャンネル体制へと更に拡大を進めています。また今年6月のFIFAワールドカップ南アフリカの全64試合ハイビジョン生中継に向けた準備も着々と進み、いよいよハイビジョンサービスが本格稼働段階となりました。

さらに「3Dテレビ元年」となる今年の夏にはスカパー!HDでの3D放送開始を予定し、ハイビジョンチャンネルに話題の3D放送が加わることで、スカパー!HDの魅力と付加価値をより多くの方々に楽しんで頂けると考えています。

衛星事業では、2009年12月1日(日本時間)にインド洋をカバーするインテルサット社との共同衛星 Intelsat 15 (JCSAT-85) が無事打ち上げられ、期待が高まる移動体ビジネス分野での活用や公共ビジネス分野における安全・安心を守るサービスへの取り組みが進んでいます。また、2008年8月に施行された「宇宙基本法」をもとに、内閣官房に宇宙開発戦略本部が設置され、昨年6月には「宇宙基本計画」が発表されました。これに伴い、政府系衛星関連ビジネスの受注を目指すべく当社は『宇宙ビジネス推進部』を新設しました。さらに、グローバルビジネス分野においては北米市場におけるインテルサット社との共同事業、アジア・オセアニア地域における旺盛な衛星回線ニーズの取り込みを進めています。

当第3四半期の営業収益は、前期における特殊要因がなくなった影響で微減となりましたが、営業利益は経費節減を推進したこと等で増益となりました。第4四半期においても上記の取り組みをさらに強化し、2010年3月期連結業績は営業収益1,400億円、営業利益120億円、経常利益100億円、当期純利益80億円を見込んでいます。

今後もグループ全体の構造改革を進めつつ企業価値のさらなる向上を図ってまいります。株主の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



2010年3月
代表取締役社長

秋山 政徳

[>> WEB 版はこちらへ](#)

連結財務ハイライトと第3四半期決算のポイント

◎ 連結業績ハイライト

(単位: 百万円)	第3四半期(4/1~12/31)		前年同期比 (%)	2010年3月期 (予想)	2009年3月期 (実績)
	2009年3月期	2010年3月期			
営業収益	107,846	104,598	97.0%	140,000	145,412
営業利益	12,287	12,377	100.7%	12,000	16,888
経常利益	11,154	11,107	99.6%	10,000	15,300
当期純利益	3,208	5,895	183.8%	8,000	4,047
EBITDA	19,761	29,491	149.2%	-	29,653

* EBITDA は当期純利益+税金費用+減価償却費+支払利息にて算出しております。

◎ セグメントハイライト

(単位: 百万円)		2009年3月期第3四半期* (4/1~12/31)		2010年3月期第3四半期 (4/1~12/31)	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
有料多チャンネル事業	営業収益	80,142	73.3%	82,125	78.0%
	営業利益	6,774	54.2%	7,992	62.9%
衛星事業	営業収益	29,165	26.7%	23,164	22.0%
	営業利益	5,735	45.8%	4,704	37.1%
単純合計	営業収益	109,307	100.0%	105,289	100.0%
	営業利益	12,509	100.0%	12,697	100.0%
消去及び全社	営業収益	△1,461	-	△691	-
	営業利益	△221	-	△319	-
合計	営業収益	107,846	-	104,598	-
	営業利益	12,287	-	12,377	-

* 2009年3月期の数字には、一部セグメント仕分けの修正をほどこしております。

◎ 営業データ

	2009年3月末	2009年12月末
有料多チャンネル累計契約件数	3,707,752	3,712,556
保有衛星数	12	12



◎ 第3四半期決算（連結累計期間）のポイント

● 損益状況

有料多チャンネル事業における加入者からの収入や、衛星事業における安定的な顧客基盤からの収益はあったものの、前年同四半期に計上した衛星回線一括販売が無いこと等の影響により、第3四半期の営業収益は104,598百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

営業利益は、経費節減の推進や加入者獲得費用負担の少ないスカパー！e2の契約件数の増加等により12,377百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

● 契約件数の推移

第3四半期末（2009年12月末）の累計契約件数は、2009年3月末と比較して、5千件純増の3,712,556件となりました。要因は、デジタルテレビの普及拡大に伴うスカパー！e2の契約件数の拡大や光ファイバを利用したe2再送信開始等により、新規個人契約件数が全体で41.2万件と前年同期（39.9万件）を上回ったことによるものです。一方、個人解約率は、スカパー！e2の総加入件数の増加に伴い、プロ野球やJリーグ終了時の解約のインパクトが増加したこと等により、月換算率で1.3%と前年同期比0.1ポイント上昇しました。

● 通期業績の見通し

通期の業績予想につきましては、2010年1月12日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」どおり、営業収益については、有料多チャンネル事業及び衛星事業が概ね想定どおり推移していることから140,000百万円、営業利益および経常利益については、経費節減を推進したことや加入者獲得費用負担の少ないスカパー！e2の契約件数が想定を上回ったこと等により、それぞれ12,000百万円、10,000百万円としています。

当期純利益については、12月15日に公表いたしました(株)ケーブルテレビ足立の株式譲渡益、投資有価証券償還益等により、8,000百万円の見通しとなっています。

[>> WEB 版はこちらへ](#)

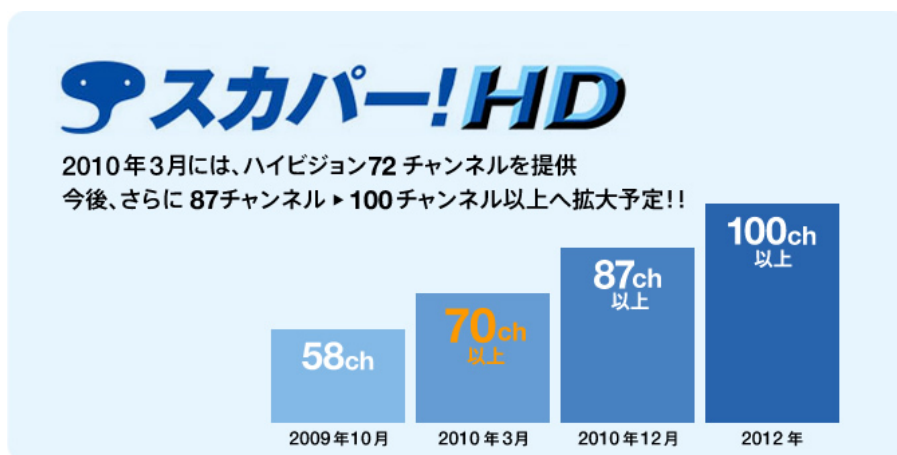
トピックス

◎ 有料多チャンネル事業

スカパー！HD ハイビジョンチャンネル数は順調に拡大

当社グループでは、ハイビジョン化をさらに促進するべく下期から「スカパー！HD」のチャンネル数を順次拡大し、3月には72chになりました。2012年には100ch以上の豊富なラインナップを揃えて、日本最大級のハイビジョンプラットフォームの構築を着実に進捗させています。

ハイビジョンチャンネルの拡大計画



＜加入者数増加に向けた施策＞

- 「スカパー！HD」認知度の向上
引き続き、TV、新聞で広告宣伝を展開していきます。
- 「スカパー！HD」チューナーの価格の低廉化
ハイビジョンサービスをお手軽に楽しんでいただけるようになりました。
(スカパー！HD受信機器のご案内は[こちら](#))
- 「スカパー！HD」録画対応機器の普及促進
ブルーレイディスクレコーダーの対応機種が増加！
ハイビジョンが録画できる環境をさらに整えます。

スカパー！HD 対応録画機器 (ブルーレイディスクレコーダー)



BDZ-RX105

ソニー
ブルーレイディスクレコーダー

DMR-BWT3000K

パナソニック
ブルーレイディーガ
(発売予定)



さらに、2010年のビックイベントである、サッカー「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ」の放送についても、着々と準備を進めています。

2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ 全64試合 無料ハイビジョン生中継※ 内、20試合はスカパー！で独占生中継

※スカパー！のチャンネルまたはバック・セット等のご契約により無料で楽しみいただけます。

当社グループの放送コンセプト



オフィシャルコメンターに
オシム氏を起用!!

サッカー先進国の中継レベルに匹敵するような、「世界標準な映像」に加えて「世界標準のコメンタリー」として、オフィシャルコメンターに元サッカー日本代表監督のオシム氏を起用し、注目を集めています。スカパー！が放送する“世界標準のハイビジョンサッカー中継”に是非、ご期待下さい。

(スカパー！ワールドカップ特設サイトは[こちら](#))

3D 放送への取り組みについて

2010 年は、3D 元年

ハリウッド映画の実写3D作品の公開をはじめ、国内家電メーカーが家庭向け3D対応テレビを売り出すなど、3D市場の動きが活発化しているなか、当社グループでは、2010年夏にスカパー！HDにて3D専門チャンネルを開設する予定です。3D対応テレビに、現在のスカパー！HDチューナーを接続いただくことでご家庭でも3Dコンテンツの視聴が可能となります。

サッカー、格闘技などのスポーツコンテンツ、コンサートなどのライブコンテンツを中心に、さまざまなコンテンツを放送予定です。今回の3D放送の開始で、スカパー！HDの魅力と付加価値をさらに高めてまいります。

(詳細リリースは[こちら](#))





◎ 衛星事業

宇宙ビジネス推進部の新設

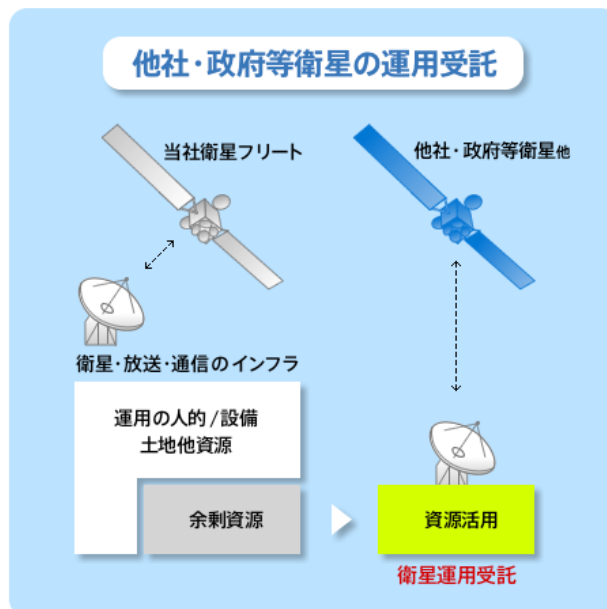
宇宙基本計画への対応

政府が進める宇宙基本計画では、宇宙開発・利用を「研究開発主導」から「利用ニーズ主導」へと転換することが提唱されています。当社グループでは政府の産業競争力強化などの推進に伴うビジネスチャンスに対応するため、今年1月1日付で『宇宙ビジネス推進部』を新設しました。

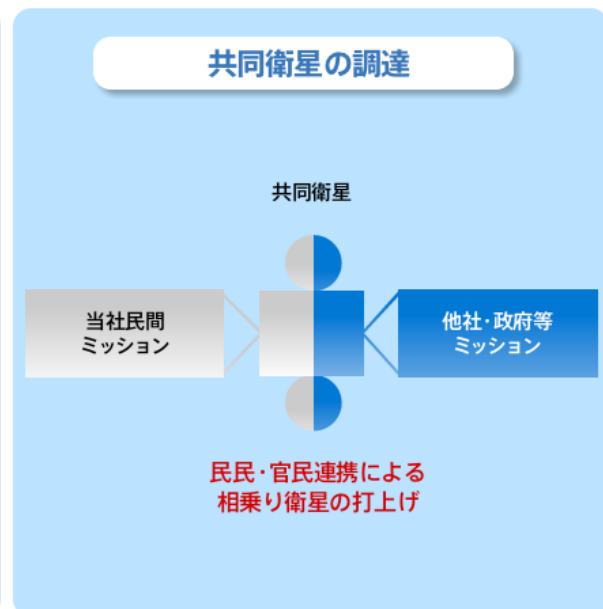
『宇宙ビジネス推進部』の創部コンセプトと期待される効果は以下となります。

コンセプト

- ◎ 衛星運用ノウハウ/資源の効果的活用
- ◎ 衛星調達コスト低減化および政府ミッションの追加収益確保



- ① JSATと宇宙通信の統合による余剰資源の活用対策
- ② 現内部コストの収益化



- ① 当社調達コスト(製造、打上)の低減
- ② 他社・政府等ミッションの取り込みによる収益増

[>> WEB 版はこちらへ](#)

スカパー！ サービスのご案内

◎「一押し」コンテンツ

見たい番組がきっと見つかるスカパー！

スカパーJSAT 株式会社では、「This Month Pick Up! Program 今月のイチオシ」と題し、月ごとにおすすめ番組をご案内しています。

※下の各ジャンルのアイコンをクリックしてください。番組紹介ページにリンクします。

各ジャンルのイチオシ!!

▶ 映画 MOVIE	▶ ドラマ DRAMA
▶ スポーツ SPORTS	▶ 音楽 MUSIC
▶ アニメ ANIMATION	▶ ニュース・ドキュメンタリー NEWS / DOCUMENTARY
▶ 趣味・エンターテインメント HOBBY / ENTERTAINMENT	▶ 教育 EDUCATION

◎ 主要サービス一覧

	専用受信機 必要	専用受信機 不要
アンテナ 必要 衛星による 配信 (DTH)	スカパー! 東経124°/128° CS使用 国内最大の277チャンネル (HD58チャンネルを含む) を誇るCSデジタル放送及びペイパービュー (PPV) サービス。 チャンネル数 合計 277 TV — 176 (+ハイビジョン58ch) ラジオ — 101 契約件数 252万件	スカパー! e2 東経110° CS使用 選りすぐりの68チャンネル (HD7チャンネル含む) で、BS/CSチューナー内蔵型デジタルTVさえあれば手軽に楽しめるサービス。 チャンネル数 合計 68 TV — 68 (データ放送、HD7チャンネル含む) 契約件数 104万件 デジタルTV普及に伴い契約者増を期待!
アンテナ 不要 光ファイバーによる配信 (FTTH)	スカパー! 光 光回線を通じてスカパー! が提供する全チャンネル (HD除く) と地上デジタル、BSデジタル放送の視聴が可能なサービス。 チャンネル数 合計 297-312 契約件数 10万8千件 TV・ラジオ — 272 地上デジタル BSデジタル放送 (地域によって差あり) — 25-40	スカパー! e2 再送信 光回線を通じたスカパー! e2サービスの再送信で、地上波、BS、CSの全てが視聴可能なサービス。 アンテナ、専用受信機不要で、地上デジタル放送、BSデジタル放送視聴者へのe2サービス拡大を期待! ※チャンネル数、契約件数は上記参照

(2009年12月末現在)